

マーケットの動き（2022年6月13日～6月17日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

5月の米国CPI（消費者物価指数）の上昇を受け長期金利の上昇が続いたものの、金融政策の影響を受けやすい短中期金利が長期金利以上に上昇したことで、景気後退懸念が高まりました。FOMC（米国連邦公開市場委員会）で利上げが決定された直後は、材料の出尽くし感から上昇しましたが、景気後退への警戒感が払拭されず一時的な反発に留まりました。

欧州市場はスイスや英国の中央銀行による利上げ表明を受け前週末比で下落しました。

投資環境見通し（2022年6月）

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開に

企業業績は、一部に市場予想を下回る決算もみられましたが、全体としては堅調な結果となっています。ただし、2～4月期決算では先行きに対して慎重な見通しを示す企業もみられることから、今後の金融引き締めやインフレの企業業績に対する影響が懸念されます。

米国：株式相場は5月以来、景気や企業業績の悪化を織り込み始めていますが、過度な織り込みの反動から反発の可能性がります。ただし、景気の先行き不透明感から全般的には上値の重い展開になるとみえています。

欧州：ウクライナ情勢やECB（欧州中央銀行）による利上げペースを注視しつつ、米国株式相場と同様に上値の重い展開になるとみえています。

	6月17日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	3,674.84	▲5.79%	▲10.13%	▲20.47%	▲12.96%
NYダウ	29,888.78	▲4.79%	▲8.47%	▲15.49%	▲11.63%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202206_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2021年5月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成